

FRESH LIGHT

フレッシュライト
ミルクヘアカラー

<使用説明書>

ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

使用方法、その他についてご質問がありましたら、
お客様相談室まで、お問い合わせください。

お客様相談室
TEL 0570-032525

※受付:土・日・祝日を除く
10:00~12:00/13:00~17:00

<http://www.freshlight.jp/>

1箱全量で
セミロング約1回分です。

シュワルツコフ ヘンケル株式会社
東京都品川区東品川2-2-8

AB.H

使用上のご注意

1. 次の方は使用しないでください。

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2. 使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には右記の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合がありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭髪以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るとおそれがあります。
- ④ 顔より直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前後1週間はパーマントウエーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

3. 使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
- ② 換気の良いところで使用してください。
- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やしずく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。
- ⑥ 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4. 取り扱い上のご注意

- ① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流してすててください。
- ② 混合した薬剤は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあり危険です。

5. 保管上のご注意

- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光をさけて保管してください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

染毛の2日前(48時間前)には、毎回必ず行ってください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は、アレルギーの有無をチェックするための簡単なテストです。ある食品、化粧品、医薬品などでアレルギー反応をおこす人がいるように、ヘアカラーでアレルギー反応をおこす人がまれにいます。ヘアカラーのアレルギー反応は、初回の染毛時のテストで異常が認められなくても、何回目かに初めて異常が認められる場合もあります。染毛のたびに毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

次のものを準備します。

箱の中に用意されているもの



ご自分で用意していただくもの



テスト液は1剤と2剤を1:2の割合で混ぜてつくります。

- ① 1剤チューブのキャップをはずし、キャップ頭部の突起で、チューブの口に穴をあけます。ごく少量を小皿に出します。
- ② 2剤のキャップをはずし、綿棒を使って小皿の上に1剤の2倍量の2剤をとり出します。
- ③ 新しい綿棒で充分に混合し、テスト液をつくります。
- ④ テスト液ができたら、腕の内側に10円硬貨大にうすく塗り自然乾燥させます。
 - ・テスト液が乾燥するまで、衣服につかないようご注意ください。30分くらい放置しても乾かない場合はテスト液のつけすぎですから、余分なテスト液を、ティッシュペーパーなどで軽くふきとってください。
 - ・テストをした当日は、なるべく入浴しないでください。やむをえず入浴する場合は、テスト部位をぬらさないでください。
- ⑤ そのまま触れずに48時間放置します(時間を必ず守ってください)。
- ⑥ テスト部位の観察はテスト液塗布後30分くらいと48時間後の2回は必ず行ってください。
 - ・そのとき、塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激などの皮膚の異常があった場合には、手などでこすらないで、すぐに洗い落とし染毛はしないでください。
 - ・途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止しテスト液を洗い落として、染毛はしないでください。
 - ・かぶれた部位などは手などでこすらず、すぐに皮膚科専門医の診療を受けてください。
- ⑦ 48時間たって異常がなければ、すぐに染毛してください。
※日をおくと体質が変わることがあります。皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は毎回必ず染める前に行ってください。

箱の中に入っているもの



ご自分で用意していただくもの



使用前のご準備

髪の状態

- 前洗いの必要はありません。ただし髪の汚れのひどいとき、カラースプレーなどの一時染毛料や多量の整髪料などをご使用のときは、前日に洗髪しておいてください。
- 非酸化染毛剤(マロンマインドカラーなど)で染めた髪には使用しないでください。

身じたく

- ※ 薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、充分注意してください。
- 汚れてもかまわない前あきの服装に着替え、首にケープかタオルをかけます。
- 床などが汚れないように新聞紙などを重ねて敷きます。
- はえぎわや耳や首に混合液がついて着色するのを防ぐために、コールドクリームなどを塗っておきます。ただし、コールドクリームが髪につくと、染まりにくくなりますのでご注意ください。



ケープかタオルをかけます。



コールドクリームなどを塗っておきます。

- 爪も髪と同じように染まりますから、添付の手袋をはめてお使いください。このとき手首を輪ゴムでとめておくと操作しやすくなります。
- メガネ、イヤリング、ピアス、ネックレス、指輪は、はずしてください。
- 寒いときは、なるべく暖かい部屋で染めてください。



手袋をします。

準備が
できたら
裏面へ

